

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	乳房外パジェット病	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Perianal Paget's Disease: distinguishing primary and secondary lesions using immunohistochemical studies including gross cystic disease fluid protein-15 and cytokeratin 20 expression	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	PagetCQ2-6	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (V)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Arch Pathol Lab Med	
	雑誌 ID		
	巻	122	
	号		
	ページ	1077-81	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1998	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Nowak MA	Department of Pathology, Western Reserve Care System, A Division of Forum Health
その他著者 1		Guerriere-Kovach P	同上
その他著者 2		Pathan A	同上
その他著者 3		Campbell TE	同上
その他著者 4		Deppisch LM	同上
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	肛囲パジェット病に対する免疫組織化学的検討	
	研究デザイン	症例集積研究	
	セッティング	Department of Pathology, Western Reserve Care System, A Division of Forum Health	
	対象者	肛囲原発パジェット病 2 例および直腸癌のパジェット現象 3 例	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (2)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (22)	
	介入 (要因曝露)		
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	主な結果	肛囲原発パジェット病 2 例全例で、CK7+/CK20-/GCDFP15+、直腸癌合併 3 例全例で、CK7+/CK20+/GCDFP15+であった。	
結論	肛囲原発パジェット病と直腸癌のパジェット現象の鑑別にサイトケラチン 20 と GCDFP15 による免疫組織化学染色は有用である。		
備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	清原隆宏	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (V) 解析対象が少数であり、免疫組織化学染色による鑑別の精度は評価不能である。	